

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）  
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月25日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
理 事 長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署）

関川 泰隆

<b>1. プログラム名称</b>			
川崎協同病院 病院総合医研修プログラム			
<b>2. プログラム責任者</b>			
プログラム責任者氏名	関川 泰隆	学会会員番号	
所属・役職	川崎協同病院 副院長		
所在地・連絡先	住所 〒210-0833 電話 044-299-4781 FAX 044-277-9634 E-mai gasakichi1@yahoo.co.jp		
連絡担当者氏名*・役職	城谷 創一 事務次長	*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載	
連絡先	電話 044-277-9633 FAX 044-277-9634 E-mail s.shirovani@kawai-kyo.or.jp		
<b>3. 最近1年間のプログラムの概要</b>			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>当プログラムが目標とする「病院総合医」とは、従来の「家庭医」の概念を幅広く捉え、在宅、外来に加えて、入院医療をも一体のものとして、一連の流れのなかで自ら直接対応し得る能力を持ち、病院運営や地域の医療の質の改善に寄与できる医師である。</p> <p>なお、この度当院での新たな総合診療後期研修プログラムとして、「ジェネラリスト養成プログラム かながわ～川崎医療生協 家庭医療/総合診療複合プログラム～」(初期研修終了後3年間)を整備した。当「病院総合医研修プログラム」とあわせて履修することによって、一連のコースとしてより充実した総合的な研修が行なえる条件が整ったと考えております。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

<b>4. 過去2年間の実績</b>			
2012 年度	新規研修開始者数	0名	
	研修修了者数	0名	
2013 年度	新規研修開始者数	0名	
	研修修了者数	0名	

<b>5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）</b>							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	名	4年目	名

<b>6. プログラムにおける指導医</b> 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
関川 泰隆	S57年卒	日本プライマリ・ケア学会指導医	
安西 光洋	S59年卒	日本プライマリ・ケア学会指導医	
桜井 彰	S56年卒	内科認定医	
桑島 正臣 協同ふじさきクリニック	S54年卒	内科認定医	循環器専門医
西村 真紀 あさお診療所	H9年卒	家庭医療専門医	日本プライマリ・ケア学会指導医

<b>7. 施設・診療科診療実績概要</b>	
病床数	267床（内総合診療部門定床 70床）
総合診療部門外来患者実績	初診 約 400人/月 再診 約 1,600人/月
総合診療部門入院患者実績	平均 約 110人/月

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者1人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室（ICU）・HCU入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例
9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

**10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）**

研修期間に習得すべき一般目標と行動目標を設定している。研修活動の記録資料や定期的に行なう後期研修管理委員会などで研修評価を行なう。

また、日本内科学会総合内科専門医未取得者は取得を目指す。

**11. プログラムの質の向上・維持の方法**

後期研修委員会、個別面談などでプログラム参加者からプログラムに対するフィードバックを行なう。

また、日本プライマリ・ケア連合学会や日本内科学会等内科系関連学会に参加、発表し、プログラムの質の向上・維持の情報収集・情報交換などを行なう。

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください